言語文化演習

比較文学・文化研究　前川ゼミ

・比較文学とは？

人の書く文章には、当時の生まれ育った文化的背景や時代背景が内包されます。

それらがどういった姿形をしているのか、ひとつから気づくことは難しいもので、異なる文化圏との比較が必要となります。

比較文学とは、同時代における自国と異なる国々の文学との対比を行うもので、これによって文化的類似点を明らかにさせたり――あるいは差異を浮き彫りにさせたりすることで、異文化の教養になる他、相対的に自らの日本人としての文化的特色を識ることに繋がります。

対象となる文学作品は芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、三島由紀夫、横光利一など純文学作品の他、江戸川乱歩などの推理・大衆小説も扱い、これらの作品を、西洋文学の関連作品と比較・対比することによって、最終的には日本文学・文化および西洋文学・文化の本質について考えていきます。

・年間スケジュール

1	前期開始　比較文学・文化の方法
2	比較文学・文化の視点
3	黒沢明『乱』鑑賞。『乱』と『リア王』比較
4	三島由紀夫研究『獣の戯れ』
5	映画『カポーティ』鑑賞　事実をどう扱うか
6	学生による発表１
7	レポートの回収と講評
8	ゼミ合宿　推理小説の歴史的研究　江戸川乱歩『黒蜥蜴』
9	後期開始　関山和夫『説教の歴史』
10	谷崎潤一郎『少将滋幹の母』
11	横光利一『春は馬車に乗って』『機械』

12	レイモンド・ウイリアムズ「感情の構造」と昭和歌謡
13	学生の発表
14	遠藤周作『海と毒薬』　日本と西洋における罪の意識
15	映画『海と毒薬』
16	６０年代および７０年代の背景
17	映画『私が棄てた女』
18	レポート回収と総括

後期になると四年生のゼミ論の途中発表が主になりますが、それを元にして自らの方向性を定めたりする良い機会になります。また、学会へと向けてグループで行動することも多くなります。

このゼミでは課題として挙げられた作品以外にも興味のある分野へとどんどん自由に目を向けることが可能です。昨年先生がアメリカで研究をされていたため、少人数のゼミですがそれぞれが個性的でとても楽しいゼミです。

私たちと、日本を再発見しませんか？前川先生の比較文化の授業で興味を持った方はぜひ！

文責三年　林　奈々恵